



## 平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年3月11日

上場会社名 株式会社 大盛工業

上場取引所 東

コード番号 1844 URL <http://www.ohmori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和田 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 及川 光広

TEL 03-3627-3221

四半期報告書提出予定日 平成28年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年7月期第2四半期の業績(平成27年8月1日～平成28年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	1,263	33.1	21	—	32	—	29	—
27年7月期第2四半期	949	2.3	△64	—	△48	—	△51	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	1.98	1.97
27年7月期第2四半期	△3.99	—

※平成28年2月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年7月期第2四半期	4,942	3,461	69.7	232.18
27年7月期	4,706	3,186	67.3	228.58

(参考)自己資本 28年7月期第2四半期 3,446百万円 27年7月期 3,167百万円

※平成28年2月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純資産は前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	0.00	—	0.50	0.50
28年7月期	—	0.00	—	—	—
28年7月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年7月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成28年7月期の業績予想(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	24.5	150	30.6	150	15.1	130	15.4	8.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成28年7月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年7月期2Q	14,848,429 株	27年7月期	13,942,749 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年7月期2Q	3,951 株	27年7月期	3,945 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年7月期2Q	14,699,110 株	27年7月期2Q	12,814,949 株
----------	--------------	----------	--------------

※平成28年2月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、詳しくは【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想について)

当社は、平成27年10月27日開催の第49回定期株主総会において株式併合の議案が承認可決され、平成28年2月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。

なお、株式併合考慮前に換算した平成28年7月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成28年7月期の配当予想  
1株当たり配当予想  
通期 0円50銭
2. 平成28年7月期の業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 0円88銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、金融政策の推進により、企業収益の改善、雇用環境の回復等が見られるものの、世界経済においては、米国の金融政策の正常化が進む中、中国を始めとする新興国等の景気の下振れ懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、復興関連事業等の公共投資、民間投資は堅調に推移しているものの依然として建設需要の拡大による技術者不足、建設資材の高止まり等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、主力の上・下水道の施工におきまして、他社との差別化を図るべく、技術力の向上、安全面の定着化を推し進め、また、東京都内及び東北を中心に受注活動を展開してまいりました。不動産部門におきましては、太陽光発電設備の販売を進めると共に引き続きO L Y機材リース等の新規顧客獲得に向けた営業活動、リピーター等の獲得に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高12億63百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

収益面につきましては、原価の低減に努めた結果、営業利益21百万円（前年同期は64百万円の営業損失）となりました。

経常損益面につきましては、不動産賃貸収入等により、経常利益32百万円（前年同期は48百万円の経常損失）となりました。

四半期純損益につきましては、29百万円の四半期純利益（前年同期は51百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### （建設事業）

建設事業におきましては、公共投資が堅調に推移したことにより、受注高13億81百万円（前年同期比43.9%増）、売上高9億42百万円（前年同期比18.9%増）、完成工事総利益88百万円（前年同期比234.1%増）となりました。

#### （不動産事業等）

不動産事業等におきましては、太陽光発電設備の販売、O L Y機材リースの拡販等により売上高3億18百万円（前年同期比107.1%増）、不動産事業等総利益64百万円（前年同期比297.5%増）となりました。

#### （その他）

その他事業におきましては、売上高3百万円（前年同期比1.3%減）、その他の売上総利益2百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産の残高は、49億42百万円となり、前事業年度末に比べ2億35百万円増加いたしました。その主な要因は、現金預金の減少10億26百万円、受取手形・完成工事未収入金等の増加7億48百万円、不動産事業等支出金の増加36百万円、短期貸付金の増加1億56百万円、建設仮勘定の増加1億55百万円、その他の増加1億50百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、14億80百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円減少いたしました。その主な要因は、工事未払金の増加1億37百万円、短期借入金の減少13百万円、未成工事受入金金の減少1億46百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、34億61百万円となり、前事業年度末に比べ2億75百万円増加いたしました。その主な要因は、資本金の増加1億60百万円、資本剰余金の減少1億91百万円、利益剰余金の増加3億11百万円、新株予約権の減少4百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における「現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高」は、前事業年度末に比べ10億26百万円減少(前年同四半期は2億33百万円減少)し13億18百万円(前年同四半期末残高は13億91百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は9億45百万円(前年同期は5億2百万円の資金減少)となりました。これは主に、売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3億18百万円(前年同期は1百万円の獲得)となりました。これは主に、固定資産の取得、貸付金の貸付及びその他の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、2億32百万円(前年同期は2億68百万円の獲得)となりました。これは主に、株式の発行による収入3億11百万円、借入金の純減少額17百万円、配当金の支出61百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期会計期間までの業績は、当初策定しました予定を下回っております。これは、不動産事業において、平成28年1月に予定しておりました賃貸物件の販売が平成28年2月にずれ込んだことによるものであります。

当該賃貸物件の売上は、第3四半期に計上される予定であり、その他の事業につきましては概ね予定通りに推移する見通しであることから、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,344,943	1,318,126
受取手形・完成工事未収入金等	475,991	1,224,221
未成工事支出金	111,919	116,371
不動産事業等支出金	361,893	398,632
販売用不動産	356,318	352,318
立替金	56,135	59,152
短期貸付金	—	156,000
前払費用	11,414	11,657
営業保証金	164,753	164,753
その他	9,076	159,733
貸倒引当金	△36,740	△36,773
流動資産合計	3,855,708	3,924,194
固定資産		
有形固定資産		
建物	863,179	863,179
減価償却累計額	△703,872	△710,312
建物（純額）	159,307	152,866
構築物	103,918	103,918
減価償却累計額	△103,918	△103,918
構築物（純額）	0	0
機械及び装置	52,510	58,399
減価償却累計額	△52,510	△52,878
機械及び装置（純額）	0	5,520
車両運搬具	6,571	6,856
減価償却累計額	△3,767	△4,143
車両運搬具（純額）	2,803	2,713
工具器具・備品	74,566	74,983
減価償却累計額	△69,935	△70,517
工具器具・備品（純額）	4,631	4,465
土地	402,253	402,253
建設仮勘定	—	155,186
有形固定資産合計	568,996	723,007
無形固定資産		
投資その他の資産	5,924	5,098
長期貸付金	173,470	170,284
破産更生債権等	2,132	2,013
固定化営業債権	232,562	230,462
保険積立金	177,930	177,930
その他	77,681	95,448
貸倒引当金	△388,218	△386,386
投資その他の資産合計	275,558	289,752
固定資産合計	850,478	1,017,858
資産合計	4,706,186	4,942,053

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	150,855	288,787
短期借入金	301,640	288,288
未払金	13,595	2,395
未払費用	75,182	82,700
未払法人税等	22,692	11,840
未払消費税等	1,516	20,359
賞与引当金	30,645	10,680
未成工事受入金	415,799	269,179
工事損失引当金	83,921	83,921
完成工事補償引当金	17,008	12,741
未払配当金	—	8,082
その他	21,642	15,667
流動負債合計	1,134,499	1,094,644
固定負債		
長期借入金	366,400	362,493
退職給付引当金	2,900	7,246
訴訟損失引当金	4,400	4,400
長期預り保証金	11,918	11,918
固定負債合計	385,618	386,057
負債合計	1,520,117	1,480,702
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,605,287	2,765,371
資本剰余金	900,267	708,658
利益剰余金	△281,999	29,050
自己株式	△56,492	△56,493
株主資本合計	3,167,063	3,446,586
新株予約権	19,005	14,765
純資産合計	3,186,068	3,461,351
負債純資産合計	4,706,186	4,942,053

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	792,891	942,461
不動産事業等売上高	153,777	318,402
その他の売上高	3,110	3,069
<b>売上高合計</b>	<b>949,780</b>	<b>1,263,932</b>
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	766,347	853,764
不動産事業等売上原価	137,506	253,716
その他の売上原価	999	896
<b>売上原価合計</b>	<b>904,853</b>	<b>1,108,377</b>
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	26,544	88,696
不動産事業等総利益	16,271	64,685
その他の売上総利益	2,111	2,173
<b>売上総利益合計</b>	<b>44,926</b>	<b>155,555</b>
販売費及び一般管理費	109,258	134,458
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>△64,331</b>	<b>21,096</b>
<b>営業外収益</b>		
不動産賃貸料	17,279	30,262
貸倒引当金戻入額	2,561	2,594
その他	16,143	6,044
<b>営業外収益合計</b>	<b>35,983</b>	<b>38,902</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	5,556	7,246
不動産賃貸原価	10,997	15,715
雑支出	3,910	4,387
<b>営業外費用合計</b>	<b>20,464</b>	<b>27,349</b>
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>△48,812</b>	<b>32,648</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	—	1,555
<b>特別利益合計</b>	<b>—</b>	<b>1,555</b>
<b>税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)</b>	<b>△48,812</b>	<b>34,204</b>
法人税、住民税及び事業税	2,354	7,067
法人税等調整額	—	△1,913
<b>法人税等合計</b>	<b>2,354</b>	<b>5,153</b>
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>△51,166</b>	<b>29,050</b>



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△48,812	34,204
減価償却費	8,886	8,707
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,186	△1,799
工事損失引当金の増減額(△は減少)	34,943	—
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	5,501	△4,266
退職給付引当金の増減額(△は減少)	400	4,346
賞与引当金の増減額(△は減少)	△159	△19,965
受取利息及び受取配当金	△6,167	△5,129
支払利息	5,556	7,246
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,555
売上債権の増減額(△は増加)	68,121	△748,230
たな卸資産の増減額(△は増加)	△550,020	△203,827
仕入債務の増減額(△は減少)	144,654	140,049
その他	△153,466	△138,217
小計	△492,748	△928,436
利息及び配当金の受取額	843	5,073
利息の支払額	△5,115	△6,116
法人税等の支払額	△5,844	△15,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△502,864	△945,249
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△100,000	△156,000
貸付金の回収による収入	105,052	1,628
有形固定資産の取得による支出	△3,958	△15,771
有形固定資産の売却による収入	—	5,049
その他	129	△152,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,223	△318,059
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△200,000
長期借入れによる収入	90,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△85,220	△267,259
新株予約権の行使による株式の発行による収入	213,500	311,656
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	—	△61,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	268,277	232,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△226	3,707
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△233,590	△1,026,817
現金及び現金同等物の期首残高	1,624,650	2,344,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,391,059	1,318,126

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年3月5日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権を付与いたしました。この新株予約権の行使の結果、当第2四半期累計期間において、資本金が156,755千円、資本剰余金が156,755千円増加いたしました。

（セグメント情報等）

1. 前第2四半期累計期間（自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業等	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	792,891	153,777	946,669	3,110	949,780	—	949,780
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	32,979	32,979	—	32,979	△32,979	—
計	792,891	186,757	979,648	3,110	982,759	△32,979	949,780
セグメント利益又は損失 (△)	△60,237	△2,919	△63,156	△1,175	△64,331	—	△64,331

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル等の売上であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 当第2四半期累計期間（自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業等	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	942,461	318,402	1,260,863	3,069	1,263,932	—	1,263,932
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24,266	24,266	—	24,266	△24,266	—
計	942,461	342,668	1,285,129	3,069	1,288,199	△24,266	1,263,932
セグメント利益又は損失 (△)	△7,046	29,335	22,289	△1,192	21,096	—	21,096

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル等の売上であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。